

会 報 新 う ご き

編集・校正・発行 (社) 志太建築士会 〒426-0082 静岡県藤枝市瀬古3丁目12-15 Tel 054-644-1390
 ブログ <http://sidaken.eshizuoka.jp/> E-メールアドレス sida-ken@sky.tnc.ne.jp

地域型住宅ブランド化事業 冊子

静岡県地域木造住宅生産体制強化地域協議会から県内の地域型住宅ブランド化事業を紹介した冊子が届きました。
 なお、当会のグループメンバーの方には、この冊子が一冊ずつありますので事務局まで取り寄せて下さい。



平成26年度通常総会議事録

平成26年度一般社団法人志太建築士会
 通常総会 議事録

記録:事務局補佐 塩澤 裕一

日 時：平成26年 4月24日(木)

16:40~18:00

会 場：島田市大井神社宮美殿

出席者：66名(委任状：63通) 合計129名

司会進行：事務局 森田 茂樹

総会に先立ち志太建築士会で先日前お亡くなり
になられた故西村氏への黙禱

1. 開会の辞

副会長 佐野 正道

2. 綱領唱和

会員委員 北川 毅

3. 会長挨拶

会長 酒井 勝

・会員の皆様のご理解ご協力に感謝いたします。まだ過渡期でありますので、会の周知と会員増強が大変重要ですので益々のご協力お願いいたします。新しい部会である建物保全部会の準備が整い動き始めました、スキルアップや事業の拡大等活発な活動を期待しております。活動報告では一般市民や各団体との協賛が目につき、今後も継続をしていきたい。建築業界の課題である慢性的な技術者・後継者の不足と工事発注の偏りは業界の健全な発展を妨げている現状を自覚し将来に向けて技術の継承と後継者育成を進めていかなければなりません。志太建築士会も会員増強と会勢拡大に力を注ぎ、会員の皆様にもご協力頂き活動を活発化させ明るい建築士会の未来に向かって共に邁進していきましょう。

4. 来賓紹介

県会議員：佐野愛子様・大池幸男様、

市議会議員：八木伸雄様、

島田土木：山崎靖史様

5. 来賓挨拶

佐野愛子様、大池幸男様、八木伸雄様、
山崎靖史様

6. 新入会員の紹介

事務局 森田 茂樹

・正会員7名の紹介。

7. 総会議長選出

・司会者一任の発声を受け 岩崎利明氏を選出。

8. 資格確認

事務局 森田 茂樹

・正会員総数160名、出席者66名、委任状63通の計129名で本総会は成立。

9. 議事録署名人の指名

議長 岩崎 利明

・議事録署名人に永田好美さん、金原良典氏を指名。

11. 議事

第1号議案 平成25年度事業報告

専務理事 寺尾 昇人

・各委員会と部会の年間活動を総会資料に添って一括して報告。

賛成多数により可決。

第2号議案 平成25年度収支決算報告

事務局次長 杉村 真己

・平成25年度収支決算書の説明。

会計監査報告

監事 本多 正行

・監査報告。

賛成多数により可決。

第3号議案 平成26年度事業計画

専務理事 寺尾 昇人

・各委員会の年間活動を総会資料に添って説明。
賛成多数により可決。

第4号議案 平成26年度収支予算

事務局次長 杉村 真己

・平成26年度収支予算書の説明、本年度より税理士さんの指導を受け作成した為に表記方法の違いなどで前年度との差異等ありますが正式な表記方法ですので、ご理解をお願いします。

賛成多数により可決。

会費納入案内

事務局次長 杉村 真己

・会費納入案内の説明。

専務理事 寺尾 昇人

・補足報告で総会資料の巻末に平成26年度年間スケジュールがありますので確認をお願いします。

12. 報告事項

地区事業報告・決算報告及び事業計画案・予算案

常務理事 藤枝地区長 中村 裕紀

・各地区の25年度事業・決算を一括して報告。
・各地区の26年度事業計画案・予算案を一括して説明。

13. 総会議長解任

14. 閉会の辞

副会長 向坂 克美

閉会

まちづくりセンターよりお知らせ

建築士会主催 2014

「地域文化財専門家・研修」募集のご案内

公益社団法人静岡県建築士会より、2014「地域文化財専門家・研修」募集のご案内がございましたので、会員の皆様方にお知らせいたします。

今年で6年目の「地域文化財専門家」研修！

5月7日～6月6日 募集受付

研修 6/21 7/19 8/30 9/20 10/18

11/29 12/13

受講料は、

県建築士会会員 28,000円、非会員 35,000円

詳細については、下記リンク先の資料をご参照ください。

◆募集案内

http://www.shizuoka-kjm.or.jp/cms_content_s/files/files000006ac190.pdf

【主催・お問い合わせ】

公益社団法人静岡県建築士会景観整備機構

TEL 054-254-9381

E-mail honkai@shizu-shikai.com

森みわさん ニュースレター

2)ファリスト博士来日レポート

(代表理事 森みわ)

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

各メディアの報道を通じて皆さんも既に御存じかと思いますが、4月16日から20日の間、ドイツ・パッシブハウス研究所の創始者であるヴォルフガング・ファリスト博士が、日本に初来日されました。今回は中国でパッシブハウス性能の木製サッシ工場が稼働し始めたことや、中国の幾つかの都市でパッシブハウス・プロジェクトが進行していることが、博士に人生発のアジア行きを決断させたようです。そのついでに日本に寄ろうか？というご連絡を頂いたのが3月18日だったので、4月18日の東京でのシンポジウム開催に至るまでの1カ月間は、PHJメンバー及び大学の先生方、そして多くの省エネ推進団体の方のご協力を頂きました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

以前博士は“日本に行くのなら広島原爆ドームを訪れたい。それが物理学者としての使命だ”、と仰っていたそうで、今回の正味4日間の日本滞在のスケジュールリングをお任せ頂いた私としても、広島行きはどうするか？という事をお尋ねしたところ、“今回の滞在は残念ながら短すぎる。原爆の記念碑を訪ねるよりも、そんなものが二度と立てられないように東京でアクションを起こした方が良くと思う”という明確な回答を頂きまして、東京を拠点として近郊で幾つかのプロジェクトを見て頂いたり、意識の高い実務者との意見交換会を開催したりする事になりました。4月18日のシンポジウムは東京大学の伊藤謝恩ホールにて開催され、300名近くの方にお集まり頂きました。

シンポジウムでは環境省の地球温暖化対策室よりご挨拶を頂いた後、ファリスト博士と同じス

ウェーデンのルンド大学に滞在されたことのある新住協の鎌田紀彦先生による開会の言葉。そして講演トップバッターの飯田哲也氏には、世界の再生可能エネルギーの急速な成長や、原子力発電の不合理性、そして建築側のパッシブデザインによる省エネ効果についてお話頂きました。

そしてファイト博士の講演に続きます。パッシブハウスは実は中国の揚子江南部で生まれた概念だったというお話、博士がドイツで建てられた一棟目のパッシブハウスにエイモリー・ロビンズ博士が訪れた時のお話など、パッシブハウス誕生にまつわるエピソードを御紹介頂きました。なかでもエイモリー博士が残した“君（ファイト博士）の言っていることは完全に間違っている”という当時のコメントは有名です。

ファイト博士が“試験的に“建てたと主張する一棟目のパッシブハウスを体感したエイモリー博士は、これは”答えそのもの“だと考え、ファイト博士を否定したとのことでした。その時の”出来るだけ早く建材を量産化するように”というエイモリー博士の助言に基づき、ファイト博士は高性能サッシや熱交換換気装置に関して、ドイツ国内のメーカーに開発を促します。

現在ではヨーロッパを中心に数百社の中小企業が高性能な窓をプロデュースしている訳ですから、ファイト博士の貢献は大変大きなものだったと言わざるを得ません。よく私がファイト博士の前で“日本にはまだ良い建材が無くて”とか“なかなか皆さんの賛同を得られなくて”という愚痴をこぼすのですが、そんな時博士はにっこりと笑って、“大丈夫、ドイツも同じだったから、いずれ日本だって様変わりするよ”と励ましてくださいます。そしていかにドイツが酷い状況だったかを延々とお話されるのです。

私たちの知る環境大国ドイツからは想像も出来ないエピソードを！博士は良く仰います。“世界中がドイツの環境政策の行方を見守っている。だから失敗させる訳にはいかないんだ。ドイツが成功例を作れば、絶対に他の国もついてくるんだから”と。

さて、話が横道にずれてしまいましたが、シンポジウムでのファイト博士の講演の最後には、カラフルに色分けされた世界地図が登場します。これは昨年パッシブハウス研究所の研究結果なのですが、各地の気候に適した外壁のU

値、そして窓のU値を示したもの（もちろん、パッシブハウス性能の住宅を作る上での、という話ですよ）。

これをクローズアップしてみると、例えば日本の温暖地域ではサッシのU値が1.3と表示されている事が読み取れます。私が以前から国内の大手サッシメーカーさんに“U値1.3~1.5の窓を魅力的な価格で市場に送り込む事に取り組んでほしい”と訴えていた根拠はまさにここにあります。

寒冷地のパッシブハウスに必要なU値0.8クラスの窓というのは、当面日本の大手メーカーの主力製品とはなりえず、小規模の木製サッシメーカーや樹脂サッシメーカーが差別化のために取りそろえれば良いと私は今でも考えています。

ファイト博士の印象的な講演が終わり、締めは宿谷昌則先生のエクセルギーに関する講演です。宿谷先生は、飯田さんとファイト博士の講演を振り返りながら、断熱気密性の向上によって建築空間の輻射を整えるという事の重要性についてお話いただきました。そして断熱って暖房行為だよ、という素晴らしいコメント！最後は皆さんの体が宇宙空間まで繋がって、シンポジウムは3名の著名なランナーによる、これ以上の出来は無いという程に素晴らしいバトンの受け渡しでした。

そして始まったパネルディスカッション。講演者に加えて東大の前真之先生、東北芸工大の竹内昌義先生、そして軽井沢パッシブハウスのオーナーであるケビン・マヤソン氏にご参加頂きました。ケビンさんの冒頭のコメントは会場に笑いの渦を巻き起こします。

“恐縮ですが、私の家は皆さんの家よりも快適です。それは断言出来るんです。申し訳ないけど。”そして更に辛口な発言。

“実務者の皆さんはエネルギーを沢山使う家を建てて、エネルギー供給者からバックマージんでもらっているんでしょうか？”

東北でパッシブハウスを目指すプロジェクトに関わられる竹内先生からは“やっぱり年間暖房負荷15kWh/m²じゃないと駄目でしょうか？”

という博士に対する切実な質問が。前先生からは“日本の研究者たちは建物のエネルギー消費量の絶対値を求めようとは考えておらず、標

準的な建物から何パーセント削減という発想しかない”という御意見。更に“日本ではパッシブが破綻している建築に、オーバースペックなアクティブを載せる。

そもそもアクティブはパッシブを信用していない”というご指摘。限られた時間の中で登壇者の皆さんには大変的確なコメントを頂きました。そして時間超過で迎えた閉会の挨拶は南雄三氏。これがまた適任でした。おかげさまで和やかな雰囲気です。シンポジウムを終えることが出来、懇親会での皆さんの笑顔も印象的でした。このシンポジウムを機に、これまで日本国内で省エネ住宅の普及推進に取り組んで来られた皆様がますます活動し易い風潮となっていくことを願って止みません。

この度はブース出展にご協力いただいたメーカー会員の皆様、及び博士来日のために御尽力頂いたマグ・イソバール株式会社及びYKK AP株式会社にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

しずおか木の家推進事業者研修会開催のお知らせ

静岡県、しずおか優良木材認証審査会 主催
「第1回しずおか木の家推進事業者研修会」
開催のお知らせ

静岡県林業振興課より、「しずおか木の家推進事業者研修会」開催の案内がございましたのでお知らせいたします。
住宅関連事業者、林業・木材関連業者等を対象とした県産材に関する研修会です。
詳細については、下記リンク先の資料をご参照ください。

第1回しずおか木の家推進事業者研修会
～地域材を活かした木造と地域の工務店の役割
日時：平成26年5月27日(火)
午後1:30～4:30(開場 1:00)
会場：静岡音楽館 AOI 講堂
定員：180名(先着順)
申込方法：しずおか優良木材認証審査会まで、
FAX またはメールでお申込み
参加費：無料

◆案内・申込書

http://www.shizuoka-kjm.or.jp/cms_contents/files/files000006ad190.pdf

【お問い合わせ先】

しずおか優良木材認証審査会
TEL:054-667-1245/FAX:054-667-3466
Mail:s-wood@s-kenmori.net

第20回建築士会サッカー大会

5月18日(日)に第20回建築士会サッカー大会に参加してきました。



会場は 小笠山運動公園エコパ芝生広場
参加チーム

Aブロック：清水地区、静岡地区、榛原地区
Bブロック：浜松地区、宅建協会、志太建築士会
の6チームで、2ブロックに分かれて予選リーグを行い、その後順位決定戦を行いました。

開会式



優勝杯返還



でもって集合写真



PK戦

おっと入るか



はずれて



よし！



結果は予選リーグを**1位**突破し決勝は清水地区との対戦

PK戦までもつれ、惜しくも**準優勝**でした。

谷澤さんごくろうさまでした
来年もがんばりましょう！！

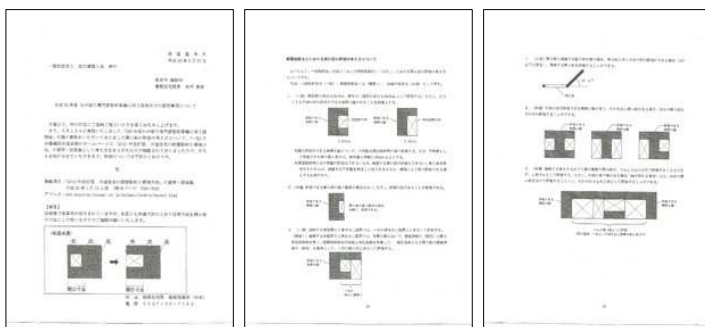
我が家の専門家診断事業に伴う説明会での質問事項について

平成26年5月22日付 島田市建築住宅課様からの回答です。

耐震診断における開口部評価について

以下写真を[Ctrl]キーを押しながらクリックしますと拡大されます。

簡単ですがご報告まで



まちづくりセンターよりお知らせ

日頃から当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

長期優良住宅の認定申請について、申請前のご注意とお願いがございますのでお知らせいたします。

下記 URL 先の資料を必ずご一読ください。

◆長期優良住宅の認定申請について

http://www.shizuoka-kjm.or.jp/cms_contents/files/files000006c8190.pdf

【お問い合わせ先】

センター 評価業務課

TEL:054-202-5573